

埼玉県立小児医療センター非常用発電機始動用蓄電池交換修繕工事 仕様書

本業務は、地方独立行政法人埼玉県立病院機構の工事实務要覧に基づくほか、この仕様書により実施するものとする。また、この仕様書は本業務の概要を示すものであり、ここに記載されていない細部の事項については、発注者と受注者が協議して決定するものとする。

1 総則

1-1 一般事項

本仕様書は、埼玉県立小児医療センター（以下「発注者」という。）が発注する「埼玉県立小児医療センター非常用発電機始動用蓄電池交換修繕工事」（以下「本業務」という。）の適正な履行の確保を図るため、地方独立行政法人埼玉県立病院機構建設工事標準請負契約約款（以下「約款」という）第1条第1項に規定する仕様書として、本工事に必要な事項を定めるものとする。また、受注者は、本仕様書に定めるほか、関係法令を遵守し、円滑な業務の遂行に努めるものとする。

1-2 適用範囲

受注者は、約款、及び本仕様書の定めるところにより、本業務を履行するものとする。

1-3 提出書類

- （1）受注者は、希望があれば指定の期日までに、発注者の定める様式により書類を提出する。
- （2）受注者は、提出した書類に変更が生じた時は、直ちに変更届を提出する。
- （3）受注者は、業務履行関係書類を常に、監督員に提出できるように整備しておく。

2 安全管理

2-1 一般事項

受注者は、常に安全に留意して現場を管理し、災害を防止するために、従業員及び公衆の安全衛生を図るため常に細心の注意を払い、労働安全衛生法規等を遵守する。

2-2 事故の防止

受注者は、業務履行に当たり、使用する機械・器具の点検整備を行い、取扱いに当たっては、熟練者が操作し、事故を未然に防止する。

2-3 事故報告

受注者は、業務履行中、万一事故が発生したときは、必要な措置を講ずるとともに事故発生の原因及び経過並びに事故による被害の内容等を速やかに監督員に報告しなければならない。

2-4 後片付け

受注者は、業務の完了までに現場の清掃を行い、付近施設に損傷を与えた場合は修復する。

3 業務履行

3-1 工程及び現場監理

(1) 受注者は、監督員の承諾を受けた工程表・実施計画書に従い、業務の円滑な履行と適正な管理を行う。

(2) 業務にあたっては、高度な小児専門病院である当センターの特殊性を十分理解し、以下の事項について注意すること。

ア 患者に対する安全を心がけ、安静療養を妨げないこと。

イ 業務上知り得た発注者の秘密については、他に漏らさないこと。

3-2 就業時間

受注者は、業務の履行時間については、あらかじめ発注者と協議する。

4 業務概要

4-1 業務場所

埼玉県さいたま市中央区新都心1番地2

4-2 対象機器

対象機器については“図面”参照

4-3 修繕内容

- ・非常用発電機2号機の始動用蓄電池交換
- ・既設蓄電池の産業廃棄処分

以下の機器の更新を行うこと。

(既設) 始動用蓄電池 (陰極吸収式シール形鉛蓄電池 DC48V MSE-500)

(新設) 始動用蓄電池 (長寿命型陰極吸収式シール形鉛蓄電池

DC48V SNSX-500 又は FVL-500 相当)

4-4 試運転確認

更新完了後は以下の項目について試験を実施すること。

- ・発電機が正常に始動すること。
- ・測定値が適正であること。
- ・異常音・異常振動のないこと。

4-5 施工上の留意事項

- ・騒音・振動等が発生する場合は、事前に病院の許可を得ること。
- ・搬入および搬出は地下駐車場から行うこと。
- ・本工事の施工にあたり、既存設備、病院建物設備及び衛生環境に損傷を与えないように十分に養生を行うこと。
- ・病院建物内及び敷地内は全面禁煙のため喫煙は認めない。
- ・試運転結果を試験成績書として提出すること。

4-6 検査

- ・施工終了に際しては、発注者立ち合いのもと、運転試験を実施すること。不具合の場合は速やかに修繕し正常な運転を確保すること。
- ・修繕に要する費用は、全て受注者の負担とする。

4－7 電力・用水

- ・施工に必要な電力・用水は既存設備を使用可能とする。ただし、事前に病院の許可を得ること。

4－8 完成図書等

- ・本作業終了後、写真付きの完了報告書を提出すること。

その他

- ・搬入および、業務で発生した梱包材料・廃棄物等は適切に処分すること。
- ・発注者・当該関係者の指示があった場合、随時作業を中断すること。